**第1学年１組　道徳科学習指導案**

**1　主題名**　楽しい学級

**2　資料名**　「もうすぐ二ねんせい」

**3　本時の学習指導**（1／1）

（1）ねらい

〇友達と一緒に自分たちの学級を大切にする心情を育てる。

（2）展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 主な発問と予想される児童の反応 | 指導上の留意点 | 時間 |
| 1　 一年生の思い出を振り返る。  2　「もうすぐ二ねんせい」を読んで、話し合う。  場面①  先生から新一年生を迎えるために合奏を行うことになったと伝えられた場面  場面②  練習しようと話しているときにみんなも「私も入れて」といってきたときの場面  場面③  いつの間にか本物の先生がうしろで拍手をしてくれていた場面  3　学級で頑張っていること、できるようになったことを書く。  4　書いたことを発表する。  5　本時の学習を振り返る。 | 〇みんなの一年生のクラスでの思い出って何？  　・入学式  　・運動会  　・登山  〇合奏をすることを伝えられた学級のみんなはどう思っただろう。  　・新一年生に見せるのが楽しみ。  　・うまくできるか不安。  　・早く練習しないと。  〇なぜみんなは練習に入れてと言ってきたのだろう？  　・うまくできなかったから。  　・練習して上手くなりたかったから。  　・みんなでやるのが楽しそうだから。  　・みんなでやれば、アドバイスができるから。  　・かわいそうだったから  　・みんなでやるのに、二人だけうまくなってもしかたないから。  〇先生が拍手をしてくれていた時  みんなはどう思っただろう？  ・拍手してもらえて、うれしい。  ・もっと練習しようと思った。  ・みんなでやってよかった。  ・うまくできたのかな。  ・いきなり後ろにいてびっくり  〇みんながクラスとしてがんばってきたこと、できるようになったことってなにかな？  〇みんなで頑張っていること、できるようになったことってなにかな？  ・給食の配膳  ・掃除  ・整理整頓  ・ながなわ  ・水泳大会  〇学級で１つになり、何かを行うことの大切さを確かめ合う。 | 〇一年生の出来事を思い出し、学級の良さを想起させていく。  〇先生がゆっくりと強弱をつけて読む。  〇実際に合奏することが決まったと考えさせ、合奏を行うことに決まったみんなの楽しみな気持ちに共感できるようにする。  〇合奏が上手くいかなかったハーモニカと木琴が練習しようとしているときに、みんなが入れてと言ってきたことをしっかりと捉えさせるように場面写真を使用し、みんなで練習する大切さに気付かせる。  〇必要に応じて、「うまくいかない人だけ、練習すればいいんじゃない？」の意見を児童に投げかけ、発言を促す。  〇みんなで練習する意味につなげていけるように、「どうしてみんな練習したのかな？」などの発問を入れ、支援していく。  〇先生に褒められた時の話などを出し、意見が出てきやすいようにする。  〇うまくいかなかった二人だけでなく、みんなで練習し、ほめられたことを通して、学級の友達と１つのことを行う大切さを指導していく。  〇学級で頑張っていること、できることを書くことによって、学級への想いを強くできるようにする。  〇発表をすることで、個人で  気づかないことを全体で共有する。  〇先生の説話を話し、学級の大切さについてまとめる。 | 5’  5’  17’          8’  5’  5’ |

**3　板書計画**

絵

絵

絵

絵

一月二十四日

　　　もうすぐ二ねんせい

〇一ねんせいのおもいで

　　・

　　・

　　・

〇がっしょうがきまったときの

きもちは？

　　　・

　　　・

　　　・

〇「れんしゅうにいれて」といった

みんなのきもちは？

　　　　　・

　　　　　・

　　　　　・

〇はくしゅしてもらったときの

きもちは？

・

・

・